



曳山博物館特別展「もう一つの平家物語」記念企画

# 平家琵琶の夕べ

特別展「もう一つの平家物語」開催を記念して、琵琶法師片山旭星さんをお迎えした演奏会を開催します。平家物語の全体を流れるテーマは諸行無常です。琵琶は平安時代から巷間の盲僧が弾いていましたが、鎌倉時代になると、平家物語を琵琶に合わせて語る「平曲」が流布するようになりました。

今回は展示で紹介している「敦盛」、平家一門の最後の戦いを描いた「壇ノ浦」など、まさに諸行無常の響きの中に身を置いていただければと思います。もうお馴染みの芸能研究家、土居郁雄氏による解説にもご期待ください。

**奏者：片山旭星氏（琵琶法師）**

**解説：土居郁雄氏（国立文楽劇場職員、芸能研究家）**

**時間：平成24年8月18日（土） 18時～19時30分**

**場所：曳山博物館伝承スタジオ**

**演奏曲目：「佛御前」「敦盛」「壇ノ浦」**

**\*入場無料**

**お問い合わせ：曳山博物館 65-3300**

## 片山旭星氏のプロフィール

1955年愛媛県生まれ。1977年より筑前琵琶を人間国宝 山崎旭萃、山下旭瑞、菅旭香に師事する。88～89年、新内を人間国宝 岡本文弥に師事。90～96年、肥後座頭琵琶を、最後の琵琶法師と言われた山鹿良之に師事。その旋律、奏法を次代に伝える数少ない琵琶奏者と言われている。

一方、古典のみならず、現代音楽、民族音楽等、ジャンルに捕らわれない演奏活動やジャズ、ダンスとのセッションライブ、演劇、舞踏の音楽制作、作曲など、幅広い活動を通して、琵琶という楽器の持つ独特の音色を生かした新たな可能性を追求している。

テーブルアルバム「SAYAGI」「SELENE」をリリースの他、94年に和楽器とかたりのCD「いにしえ」、95年、コンピレーションアルバム「寿」に参加。00年、ソプラノサクソ奏者山本公成氏とのCD「Symbiosis（共生）」をリリース。

池坊学園、学習院大学非常勤講師。

